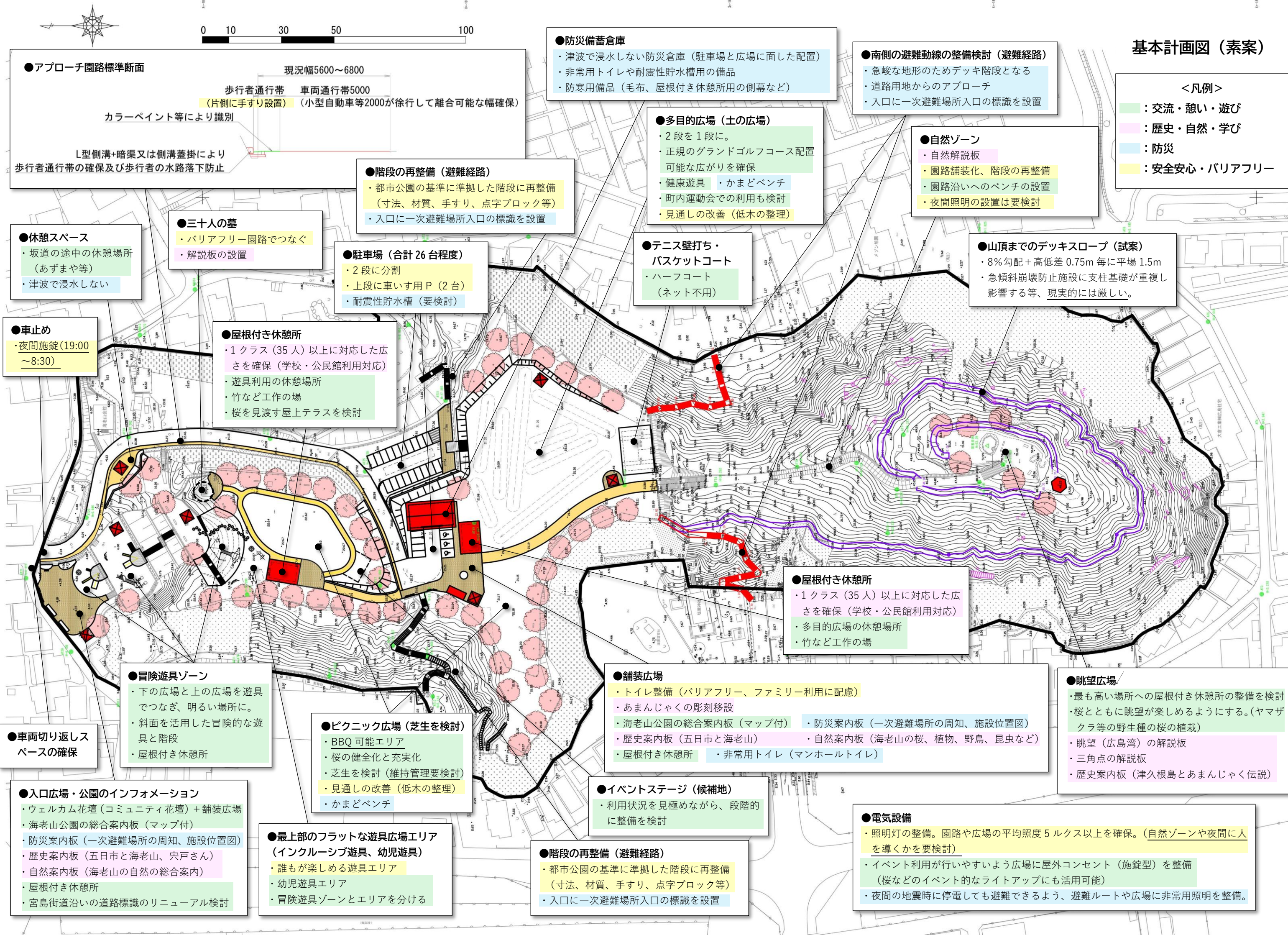




基本計画図（素案）

<凡例>

- 交流・憩い・遊び
- 歴史・自然・学び
- 防災
- 安全安心・バリアフリー

●アプローチ園路標準断面

現況幅5600～6800

歩行者通行帯 車両通行帯5000
(片側に手すり設置) (小型自動車等2000が徐行して離合可能な幅確保)

カラーペイント等により識別

L型側溝+暗渠又は側溝蓋掛により歩行者通行帯の確保及び歩行者の水路落下防止

●防災備蓄倉庫

- 津波で浸水しない防災倉庫（駐車場と広場に面した配置）
- 非常用トイレや耐震性貯水槽用の備品
- 防寒用備品（毛布、屋根付き休憩所用の側幕など）

●南側の避難動線の整備検討（避難経路）

- 急峻な地形のためデッキ階段となる
- 道路用地からのアプローチ
- 入口に一次避難場所入口の標識を設置

●自然ゾーン

- 自然解説板
- 園路舗装化、階段の再整備
- 園路沿いへのベンチの設置
- 夜間照明の設置は要検討

●多目的広場（土の広場）

- 2段を1段に。
- 正規のグランドゴルフコース配置可能な広がり確保
- 健康遊具 かまどベンチ
- 町内運動会での利用も検討
- 見通しの改善（低木の整理）

●テニス壁打ち・バスケットコート

- ハーフコート
- （ネット不用）

●山頂までのデッキスロープ（試案）

- 8%勾配+高低差0.75m毎に平場1.5m
- 急傾斜崩壊防止施設に支柱基礎が重複し影響する等、現実的には厳しい。

●階段の再整備（避難経路）

- 都市公園の基準に準拠した階段に再整備（寸法、材質、手すり、点字ブロック等）
- 入口に一次避難場所入口の標識を設置

●駐車場（合計26台程度）

- 2段に分割
- 上段に車いす用P（2台）
- 耐震性貯水槽（要検討）

●三十人の墓

- バリアフリー園路でつなぐ
- 解説板の設置

●休憩スペース

- 坂道の途中の休憩場所（あずまや等）
- 津波で浸水しない

●車止め

- 夜間施錠(19:00～8:30)

●屋根付き休憩所

- 1クラス(35人)以上に対応した広さを確保(学校・公民館利用対応)
- 遊具利用の休憩場所
- 竹など工作の場
- 桜を見渡す屋上テラスを検討

●屋根付き休憩所

- 1クラス(35人)以上に対応した広さを確保(学校・公民館利用対応)
- 多目的広場の休憩場所
- 竹など工作の場

●舗装広場

- トイレ整備(バリアフリー、ファミリー利用に配慮)
- あまんじゃくの彫刻移設
- 海老山公園の総合案内板(マップ付)
- 防災案内板(一次避難場所の周知、施設位置図)
- 歴史案内板(五日市と海老山)
- 自然案内板(海老山の桜、植物、野鳥、昆虫など)
- 屋根付き休憩所
- 非常用トイレ(マンホールトイレ)

●眺望広場

- 最も高い場所への屋根付き休憩所の整備を検討
- 桜とともに眺望が楽しめるようにする。(ヤマザクラ等の野生種の桜の植栽)
- 眺望(広島湾)の解説板
- 三角点の解説板
- 歴史案内板(津久根島とあまんじゃく伝説)

●イベントステージ(候補地)

- 利用状況を見極めながら、段階的に整備を検討

●階段の再整備（避難経路）

- 都市公園の基準に準拠した階段に再整備（寸法、材質、手すり、点字ブロック等）
- 入口に一次避難場所入口の標識を設置

●ピクニック広場（芝生を検討）

- BBQ可能エリア
- 桜の健全化と充実化
- 芝生を検討(維持管理要検討)
- 見通しの改善(低木の整理)
- かまどベンチ

●最上部のフラットな遊具広場エリア（インクルーシブ遊具、幼児遊具）

- 誰もが楽しめる遊具エリア
- 幼児遊具エリア
- 冒険遊具ゾーンとエリアを分ける

●冒険遊具ゾーン

- 下の広場と上の広場を遊具でつなぎ、明るい場所に。
- 斜面を活用した冒険的な遊具と階段
- 屋根付き休憩所

●車両切り返しスペースの確保

●入口広場・公園のインフォメーション

- ウェルカム花壇(コミュニティ花壇)+舗装広場
- 海老山公園の総合案内板(マップ付)
- 防災案内板(一次避難場所の周知、施設位置図)
- 歴史案内板(五日市と海老山、穴戸さん)
- 自然案内板(海老山の自然の総合案内)
- 屋根付き休憩所
- 宮島街道沿いの道路標識のリニューアル検討

●電気設備

- 照明灯の整備。園路や広場の平均照度5ルクス以上を確保。(自然ゾーンや夜間に人を導くかを要検討)
- イベント利用が行いやすいよう広場に屋外コンセント(施設型)を整備(桜などのイベント的なライトアップにも活用可能)
- 夜間の地震時に停電しても避難できるよう、避難ルートや広場に非常用照明を整備。